

# 日刊 動労千葉

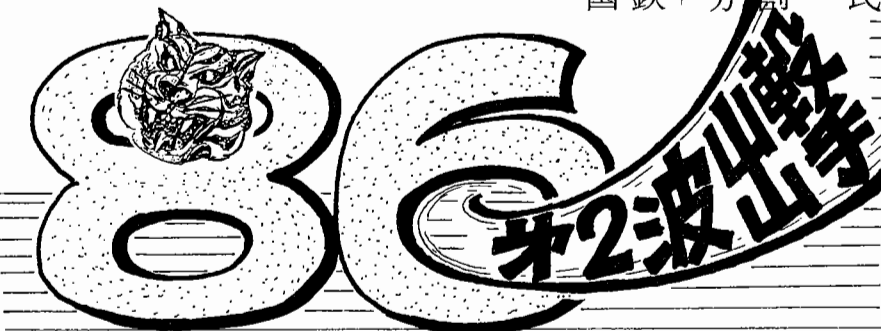
86. 1. 6

No. 2132

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

# きらび旗 団結



## 処分粉碎 切りこいざ第二波

決戦の年、一九八六年の幕は切って落されました。動労千葉は、この決戦への出陣式として一月十一日（土）十三時より、労働者福祉センターにおいて「一九八六年動労千葉団結旗開き」を開催します。全組合員が、総結集し不当処分弾劾、「分割・民営化」阻止・十万人首切り粉碎への一層の団結を固める場として圧倒的成功をかちとろうではありませんか。

### 闘志をたぎらせ いざ決戦へ

私たちは、昨年十一月二八日・二九日の両日、全国鉄労働者のおさえがたい怒りを体現し、断固二四時間ストライキを貫徹し、反撃への端緒を切り開いてきました。

私たちは、真に闘いぬいた者としての誇りと、自信、内からふつふつとわき上がる闘志をたぎらせ一九八六年を迎えました。

まさに「分割・民営化」攻撃を阻止するか否かが、私たち動労千葉一〇〇〇組合員の双肩にかかっていることを思う時、身の引きしまる思いを禁じえません。

全組合員が、自からの闘いに自信と確信を深め、勇躍決戦へ決起しようではありませんか。

### 第二波・第三波の実現こそ一切の勝利のカギ

一切の勝利のカギ、すなわち、自からが切り開いた反撃の端緒を本物にするためには、全ゆる反動をもとめない第二波、第三波の決起を実現することです。

中曽根は、二月国鉄関連法案国会日程五月東京サミット、六月総選挙一国鉄特別国会へのスケジュールを立て、国鉄当局も、一月不当処分、三月ダイ改、十一月ダイ改を通し、十万人首切り強行を狙っています。敵の攻撃は確かに凶暴ですが、しかし敵の勝算は全労働者の屈服の上に

しかありません。いかに、動労「本部」革マル、国労中央の屈服を引き出そうとも、われわれが闘い続け、全国で労働者が怒りをたぎらせている以上、攻防の主導権は、われわれが握っているのです。私たちは好きな時、好きな地点で闘えばいいのです。

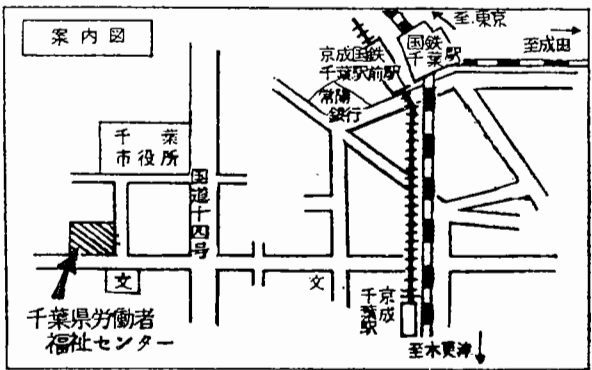
### 誇り高く勝利への 第二步をふみ出そう

当面する不当処分粉碎、業務移管攻撃阻止、三月ダイ改一検修合理化粉碎・運転保安確立を中心とする第二波闘争を断固実現すること、そのために鉄の団結を打ち固めること、全国へ撃って出、より巨大な反撃の陣形をつくり出すことが求められています。

全組合員の結集で団結旗開きを圧倒的に成功させ、毅然として、誇り高く勝利への第二步をふみ出そうではありませんか。

### 団結旗びらき

日時・1986年1月11日(土)13時  
場所・労働者福祉センター大ホール  
プログラム:(オ1部) 映画と講演 13:00~14:20  
(オ2部) 連帯の挨拶、パフォーマンス ~17:00



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!